



木村 久雄 議員(公明党議員会)
新型コロナウイルス感染症への対策強化について

Q 感染症対策における最優先事項は市民へのワクチン接種であるとしているが、医療面での安全確保に加え、コロナ禍において「人とのつながり」による市民の精神的サポートをどのように進めていく考えか伺いたい。

A また、できるだけ多くの若い方への接種も課題と思われるが、どのように考えるか伺いたい。

Q 感染症情報の積極的な発信の継続や心の健康相談の充実などにより、市民の皆さんが安心を得られ、孤立を防ぐことができるよう取り組んでいきます。

A ワクチン接種は、国の方針に基づき、接種を進める予定です。なお、活動範囲の広い若い世代の方への接種は、感染拡大防止に大変重要であると考えているため、インターネットやSNSなど様々な媒体を利用したワクチンの効果の情報発信に加え、接種を受けやすい体制づくりに努めます。



小暮 博志 議員(政友会)
健康寿命を延ばす方策について

Q 市長は、政策テーマのひとつの「安心」の中で、「市民の皆さんに健康で長生きしていただけるための『人とのつながり』で、佐野市に心の安心をつくり出してまいります」と述べていた。県内でも健康寿命の短い佐野市において、健康寿命が延びるような動きを、20年先を見据えて進めてほしいと思うが、考えを伺いたい。

A 健康寿命を延ばす方策ですが、健康づくりは毎日の積み重ねが重要ですので、健康長寿佐野づくり推進条例の制定により、市民、事業者、地域団体及び行政がそれぞれの役割と責務を明確にし、効果的に健康づくりを推進していきます。特に特定健康診査やがん検診受診の必要性、効果などについて広く啓発を行い、本市の受診率向上を図っていきます。



佐野市議会 議会中継 (令和3年)

「令和3年第4回(6月)定例会・常任委員会 — 6月8日 議案質疑」からご覧になれます。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)
スポーツ医学センターについて

Q スポーツ医学センターとはどのようなもので、市民はどのように利用できるのか。また、それによって本市がどのように発展すると想定しているのか伺いたい。

A スポーツ医学センターの内容、市民の利用、本市の発展の想定については、体力の増進、栄養面、メンタルなど、スポーツ医学に基づく専門性を有する方の指導、助言等により、市民の皆さんの健康づくりの推進を図ることを目的として、高齢者や児童生徒を中心に誰もが利用できるものを想定しています。詳細については、プロジェクトチームを設置して検討を進めていきたいと考えていますが、この施設の活用により、健康寿命の延伸に加え、スポーツ振興にも寄与できるものと考えています。



春山 敏明 議員(新風)
通学路の安全確保や防犯強化について

Q 通学路の安全確保や防犯強化について、子供からお年寄りまでの市民の安全確保や防犯強化策の事業実施をどのように進めるのか。

A 道路の安全確保では、狭隘な道路で拡幅が必要な箇所について、地域の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、市民生活の利便性の向上や安全性の確保を図っていきたくと考えています。防犯強化策では、小学校や子どもクラブにおける不審者侵入対応訓練や防犯教室など、体験をしながら学ぶ機会を提供し、防犯意識と危機回避能力の向上を図っていきます。また、高齢者が被害者となる機会が多い特殊詐欺については、撃退器の無償貸出しを実施するとともに、効果的な防犯講話の実施等により被害者の減少を図っていきます。